

# 1 がっひかりごう

平成 30 年 1 月 1 日 輝 保 育 園

あけましておめでとうございます。新しい年の始まりは、何か楽しいことが起こりそうな予感と期待で胸が膨らみます。今年も子どもたちにとって、よく遊び、よく学ぶ充実した一年でありますように、子どもたちの健やかな成長を見守ります。今年もご理解とご協力をお願いいたします。

## 【 マラソン大会 】

1 月 15 日(月)はマラソン大会を予定しています。

子ども達は、毎日公園の芝生を走っています。

当初はすぐに立ち止まり「きつい」、「走れん」などの声が聞かれていました。

最近はかなり走れるようになってきました。

ご家庭でも子どもたちの頑張りを応援してあげてください。

子ども達が元気に参加できるようにご家庭での体調管理をお願いします。

## ★ 鏡 開 き ★

最近、お供えする鏡餅はパック入りのものが主流となっているため、実際に鏡開きを行う家庭というのはすくなくなりました。

鏡開きは古くからおこなわれてきた行事です。

正月に神様にお供えしていた鏡餅を食べると、神様の力を頂くことができるので、一年を健康に過ごせるといわれています。

また、鏡を開くことにより運が開くとも考えられています。

## = 1 月の行事予定

- 4 日(木) 保育始め
- 6 日(土) 消防出初式  
(ひまわり組希望者)
- 11 日(木) 避難訓練
- 15 日(月) マラソン大会
- 26 日(金) 身体測定、お誕生会



## = ナース・レポート =

あけましておめでとうございます。

年末年始のお休みはいかがでしたか？

不規則な生活習慣がついてしまった ———— ということはありませんか？

毎日冷え込み、体調を崩しやすい時期です。

気持ちを新たに、健康管理に注意しましょう。

今月は厳しい寒さを乗り切る為に、体感温度を左右する 5 つの鍵についてです。

温度：快適な冬の室温は 18 ~ 22 °C です。室温が 10 °C 以下になると、手足の先が冷たく感じます。

湿度：快適な湿度は 45 ~ 60 % です。40 % 以下になると目や肌、のどの乾燥を感じるだけでなく、インフルエンザウイルスが活動しやすくなります。暑く感じたり、寒く感じたりするのは、温度だけでなく室温も関係しており、同じ室温でも湿度が低いと寒く感じます。

風：暖房器具の風は直接からだに当てないようにしましょう。温風でも、風に当たっていると寒く感じることがあります。

服装：カーディガンで +2.2 °C、ひざかけで +2.5 °C、ソックスで +0.6 °C とプラス 1 枚で随分暖かく感じます。

活動：寒いからと言って、家の中にずっといるのではなく、寒い冬だからこそ積極的に外に出て体を動かしましょう！

## 《 《 《 お 願 い 》 》 》

1. クリアケースの中と、お便り帳を毎日確認してください。
2. 投薬依頼がある場合は、必ず職員に手渡しをお願いします。
3. 持ち物や衣類には名前の記入をお願いします。名前が薄くなっていないか、もう一度確認をして下さい。
4. 夜更かしをさせず、早寝・早起をし、しっかり朝食を摂りましょう。
5. 毎日入浴させ、清潔にしましょう。

## ☆☆ コミュニケーション ☆☆

～ 大人の関わり方 ③ ～

2. 子どもの話は、目を見て 聞く。時にはうなづく、共感する。

コミュニケーションの成立には、一方的に伝えることだけでなく、聞く側の理解しようとする姿勢も大切な要素になります。

コミュニケーションは、言葉や文字といった言語によるコミュニケーションと非言語によるコミュニケーションに分かれ、「うなづく」、「相づちを打つ」などが非言語によるコミュニケーションにあたります。

子どもとの会話の中で、大人が話している子どもの目を見て、うなづく等の反応をすることで、子どもは、話が相手に受け止められている、自分が大切にされていると感じ、安心して会話を続けよう、伝えようという気持ちになります。

そして、思いを伝えることの喜びを感じ取り、その積み重ねが、自尊感情の向上や、何事にも前向きに取り組もうとする意欲の向上に結びつきます。

さらに、普段の日常会話から、大人自らが、話を聞く姿勢を子どもに教えていくことを積み重ね、子どものコミュニケーション能力の向上を図る必要があります。



「教育力向上福岡県民運動 ホームページ」より抜粋

## こ じ ゃ ん の よ う す

たんぽぽぐみ  
0 才児



生まれて 2 度目のお正月。 昨年は、少しずつ歩きはじめ、少し歩いては尻餅をつき、それを何度も何度も繰り返しているうちに、足の運びもスムーズになりました。 昨日よりも沢山歩けるようになり、ほんの少し前よりも、更に歩幅が伸びています。「こんなに歩けたよ！」と笑顔で保育士の胸に飛び込む姿を見てると、歩く事がとても楽しいのが伝わってきます。 歩行は「自我が歩く」とも言われています。 歩きながら、色々な事を考え、興味を抱き、胸をワクワクさせているのでしょう。 自分を支えるだけでなく、周囲に興味を持つことで、時に転んでしまう事も多いです。 痛い思いをしても、又、立ち上がり 1 歩を踏み出す姿は、頼もしい限りです。 長期のお休み明け、本調子ではない皆の登園を、いつも通り迎えたいと思います。 本年もよろしくお祈りいたします。

たんぽぽぐみ  
1 才児



あけましておめでとうございます。 今年も宜しくお祈り致します。 12 月は、「サンタクロース」、「あわてんぼうのサンタクロース」の歌を、毎日歌い、クリスマスを楽しみにしていました。 日に日に歌詞を覚え、語尾だけ一緒に歌ったり、リズムに合わせて体を揺らしたりしながら楽しみました。 しばらくすると、歌詞を覚えてしまう子もいて大きな声で歌っていました。 歌い終わると、外を指さしながら「サンタさん来る」、「あっちから」など、会話も盛り上がります。 クリスマス会当日は、目を輝かせてサンタさんを見つめていました。 近くまで行ける子は、サンタさんにタッチもできました。 年末年始は、ご家族で出掛けられることも多いと思います。 体調を崩したり、疲れが残ったりしないように気をつけながら、楽しい時間をお過ごしください。

すみれぐみ  
2 才児



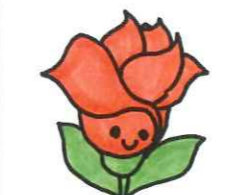
寒さが一段と身に染みるこの季節。 白い息を吐きながらも、子どもたちは元気に走りまわっています。 今、すみれぐみさんは上着の着脱を頑張っています。 初めは「先生、できない」とよく口にしていたのですが、今ではほとんどの子が自分で着れるようになり「先生、できたよ」と笑顔で教えてくれます。 ファスナーやボタンはまだ難しいようで、さりげなく手伝い、「自分で出来た！」という達成感を感じるように関わっています。 これが自信と意欲につながり、「自分で！」という思いから、最後まで諦めずに取り組み姿が見られます。 見守ることも子どもの成長には大切なことです。 お家でも、すべてをやってあげるのではなく、子ども達が自分で頑張っている姿を見守り、出来ときは共に喜ぶことで、きっとたくさんの成長を感じる事が出来ると思います。

ちゅうりっぷぐみ  
3 才児



戸外遊びでは、三輪車が大人気です。 後ろに 2 人乗せ 3 人乗りを楽しむ姿もあります。 バランスを崩して倒れても、顔を見合わせ笑っています。 倒れる事すら、楽しい様子が伝わってきます。 多様な感情を経験することを目的として、友達とペアになって行う活動を引き続き取り入れています。 以前は、自分の気持ちだけ押し通そうとし友達とぶつかり合う事も多々ありました。 しかし、その経験から悲しさや悔しさを体験し、友達と楽しく遊ぶ為には何が必要なのかということをし、少しずつ意識し始め、子ども達の行動も変わっていききました。 今では「～ が先で、～ が次ね」など相手の気持ちにも目を向けたやりとりが見られます。 まだまだうまくいかないこともありますが、友達との関わりを通して、心を調整する力を身に付けていけるよう見守っていきます。

ばらぐみ  
4 才児



先日、戸外遊びの時に三輪車やスクーターで遊びました。 人気の 2 台しかない三輪車でどう風にも遊ぶか見守っていると、三輪車を漕ぐ子は次に乗りたい子を後ろに乗せて回り、順番を待つ子は平均台に座って友達が回ってくるのを待っていました。 保育士の声かけも必要なく、上手に貸し借りしながら遊ぶことができました。 保育士の仲介が必要な時もありますが、子ども同士でしようとして遊ぶこともできるようになりました。 また、当番活動として給食の後に雑巾かけをしています。 自分がお当番の日は張り切って給食を早く食べ終え、拭くのに邪魔な椅子を動かしながらきれいにしようとしています。 当番活動や発表会へ向けての活動など意欲的に活動できるようになっていきます。 残り 3 カ月も子どもの意欲を大切にいろんなことに取り組んでいきます。

ひまわりぐみ  
5 才児



先日、クラスの友達宛に年賀状を描きました。 干支や年号、年始の挨拶などについて話をするととても興味を持っていました。 互いに分からない文字や数字を教え合うなど楽しんで活動に取り組んでいました。 できあがった年賀状は皆で郵便局に出しに行きました。 クリスマスや年末年始の行事を通してこの時期ならではの生活を体験し、豊かな感性が育まれることを願っています。 表現活動では合奏も自分のパートをだいたい覚え、皆と合わせて演奏する事を楽しめるようになってきました。 劇ごっこではグループに分かれ、「どんな発表をしたいのか」、「どんな動きがいいのか」など話し合いをしながら進めています。 意見を出して認められることで、友達と共に活動に取り組む楽しさや喜びを味わえるようになり、自信を持って生活することができるようになっていきます。